

静岡大学学生歌 われら若人

Allegretto 軽快に
歯切れよく

高嶋善二 作曲
石井 歓 作詞

1. おきにながれるながれるくろしお
やふじのたかねのそれよりもそれより
もふかくけだかくたくましくわれら
みらいをめざすわこーどのわれ
らわれらわれらはしずおか
だいがくわれらわれらわれ
らわれらわれらはわこーどど

1. 沖に流れる（流れる）黒潮や
富士の高嶺めそれよりも（それよりも）
深く気高くたくましく
われら未来をめざす若人の
われら われら
われらは静岡大学
われら われら われら（われら）
われらは（われらは）若人
2. 岡にただよう（ただよう）茶の香り
みかんの花のそれよりも（それよりも）
若人 清く すこやかに
われら 文化を荷なう 仲間たち
3. 潮満ちくる（満ちくる）浜名湖や
美保の浜辺のそれよりも（それよりも）
青く 広く 美しく
われら 真理をもとむ 青年の

平成25年度
浜松工業会

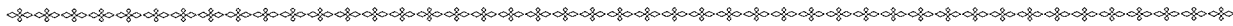
浜松支部総会

平成25年5月18日(土)

総 会
記念講演会：グランドホテル浜松 鳳東の間（2階）
懇親パーティー：グランドホテル浜松 鳳中の間（2階）

浜松工業会浜松支部

浜松支部総会行事一覧



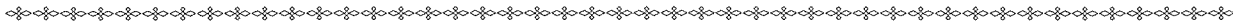
日	時	平成25年5月18日（土）		
開	場	13：45		
総	会	14：00～15：00	グランドホテル浜松	鳳東の間（2階）
記念講演会		15：15～17：45	グランドホテル浜松	鳳東の間（2階）
懇親パーティー		18：00～20：00	グランドホテル浜松	鳳中の間（2階）

総 会 次 第

14：00～15：00 鳳東の間（2階）



1. 開会の辞	八木 績
2. 支部長挨拶	鈴木 由則
3. 来賓挨拶	
浜松工業会会長	江川 猛 様
静岡大学工学部長	佐古 猛 様
静岡大学情報学部長	西原 純 様
静岡大学電子工学研究所長	三村 秀典 様
3. 議 事	議長 鈴木 由則
第1号議案 平成24年度事業報告	森下 繁男
第2号議案 平成24年度収支決算報告	森下 繁男
同監査報告	西尾 國夫、浅井 仁
第3号議案 平成25年度事業計画	森下 繁男
第4号議案 平成25年度予算	森下 繁男
第5号議案 浜松支部会則の改正と追記	鈴木 由則
第6号議案 役員交代について	鈴木 由則
5. 新副支部長紹介	八木 績
6. 新副支部長挨拶	
7. 閉会の辞	八木 績



第1号議案

平成24年度 事業報告

「深めよう！同窓の絆 強めよう母校への関心」をスローガンに掲げ、昨年度は基礎固めとして「平成25年度浜松支部総会の参加者の30%UP」と「平成24年度浜松支部の単年度会計収支の均衡」を目標に、支部活動を推進してまいりました。

1. 総務委員会 八木総務委員長

- ① 諸 会 議 役員活動に対するアンケートを実施し、役員がより参加・協力できる環境作りに取り組んできました。
役 員 会 会議の後の懇親会を無くし、会議のみを昼から年4回開催しました。この結果、参加者は増えてはいるものの、まだ30～40名止りであり、役員総数の1/3には至りませんでした。
委 員 会 役員の全員がいずれかに所属するという形の委員会を復活し、役員会と同じ日に連続して開催しました。しかし、十分な組織化には至りませんでした。
顧問会議 年度の初めに開催し、事業および収支決算の報告、事業計画(案)、予算(案)、役員交代、支部総会の来賓者の人選などについて、指導助言を頂きました。
正副支部長会 役員会および顧問会議に先立って年5回、その他合計で年12回開催しました。
② 新 年 会 役員間の親睦を図るため1月に開催しました。
③ (公財) 浜松科学技術研究振興会 大学と地域社会の交流に関して、事業委員会と協力して、支部総会の記念講演を立案し実施しました。
④ 支部間交流 支部長が他支部総会(静岡、愛知、東京、阪奈和、人文浜松支部)に参加しました。
⑤ 浜松支部総会 総会を平成24年5月19日(土)にグランドホテル浜松にて開催しました。
⑥ 静岡大学工学部駅伝大会 浜松支部より2チームが参加し、5企業と浜松支部が賞品を提供しました。

2. 組織委員会 出野組織委員長

- ① 会報「Technopia」の配布 Technopiaの第62号と第63号を配布しました。
② 懇親パーティー券の配布 企業代表幹事には各企業の会員数の2割を、個人役員には2枚を配布しました。
③ 組織強化 組織強化に向けて、同窓生が10名以上在籍する企業および企業グループ主要54社の組織化の実態を調査しました。代表幹事が存する企業は60%で、会費が徴収されている企業は57%でした。
④ 名簿メンテナンス 企業会員で60歳に達した方の個人会員への移行に伴う、名簿の更新に努めてきましたが、まだ不十分なままです。
⑤ 役員選考委員会 正副支部長からなる選考委員会を開き、会員の中から改選役員2名を選出しました。

3. 事業委員会 神谷事業委員長

- ① UT相談室 登録UT協力企業は現在19社で、Uターン希望者1名と希望退職1名の再就職に繋がりました。
② 結婚相談室 登録者数は3月末時点で男性21名と女性19名です。年間相談件数は262件で、今年度も1組のカップルが誕生しました。
③ 産学連携の推進 大学及びイノベーション社会連携推進機構などが主催する講演会、セミナーなどの情報を、総務委員会を通して対象となる支部役員に電子メールで配信しました。
④ 懇親パーティー 大学の就職担当教官とUT登録企業を合わせて11名を招待し、大学側と企業の就職担当者が情報を交換する場を設けました。また、静岡大学大道芸サークルとちんどんグループによるアトラクションも行いました。

4. 広報委員会 野中広報委員長

- ① 会報発行 Technopia第62号を6,200部、第63号を4,000部発行しました。第63号は支部会計の収支改善を図るため、会費納入のない個人会員には発送を控えました。Technopiaの寄贈図書館を2館増やし、全部で10館とし、一般市民への公開を拡張しました。
② 浜松支部 Web事業 情報更新を3回行いましたが、十分な情報発信は出来ませんでした。
③ 広告依頼・広告掲載活動 29社の広告をTechnopiaに掲載しました。新規広告主の開拓に取り組み、1社から受注できました。第64号からの掲載となります。広告掲載のない企業の幹事に、広告募集を行いました。まだ受注には結び付いていません。

5. 会費委員会 森下会費委員長

- ① 会費納入状況 会費未納の個人会員の会費納入を促すため、Technopia第62号に会費納入依頼文書を同封したところ、10月～11月の個人会員の会費振込額は、前年度の約8万円から約20万円に増加しました。また、新たに2社の企業会員から会費の納入があり、最終的に、会費収入はH23年度より約60万円増加しました。
② パーティー券販売状況 枚数で163枚、金額で108.1万円と、いずれも過去最低の結果でした。しかし、H25年度のパーティー券の売上が23万円に上ったため、予算は達成しました。
③ 収支の状況 年度予算と比べると、支部交付金が約19万円、支部年会費が約11万円、広告収入が2万円増えたため、収入は約27万円増加しました。一方の支出は、総会費、旅費・交通費、慶弔費が少し増えましたが、その他の項目の節減に努めたところ、約19万円減少しました。これらの結果、収支はH24年度予算承認時の約-55.5万円から-9.5万円と赤字を約45万円も圧縮できました。

●収入の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	説 明
支 部 年 会 費	2,100,000	2,206,500	106,500	1,500円×1,471人
支 部 交 付 金	910,000	1,103,000	193,000	協賛金（浜松工業会・浜松科学技術研究振興会）・他
パーティー券	1,310,000	1,312,000 x	2,000	H25年度分33枚（231,000円）を含む
会 報 広 告 代	565,000	585,000	20,000	掲載企業数：29社
預 金 利 子 他	300	122	-178	普通預金、郵便普通貯金
役 員 会 会 費	500,000	440,000	-60,000	役員会4回・新年会
雑 収 入	30,000	40,000	10,000	阪奈和・京滋・愛知・静岡の各支部
小 計	5,415,300	5,686,622	271,322	
前年度繰越金	3,793,927	3,793,927	0	
合 計	9,209,227	9,480,549	271,322	

●支出の部

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	説 明
総 会 費	2,350,000	2,365,918	15,918	総会・パーティー・記念講演・他
印 刷 費	2,365,918	1,757,431	－42,569	会報（Technopia）第61、62号・他
役 員 会 費	1,800,000	561,645	－38,355	役員会4回・新年会
会 議 費	600,000	245,600	－54,400	正副支部長会・顧問会議・各委員会・他
通 信 費	300,000	563,461	－36,539	会報（第61、62、63号送料）・他
旅費・交通費	70,000	87,830	17,830	他支部総会出席・他
慶 弔 費	30,000	48,024	18,024	他支部総会祝儀・他
振 込 手 数 料	20,000	30,090	10,090	郵便振替料・送金手数料
雑 費	100,000	121,869	21,869	委員会活動費・佐鳴掲載料他
予 備 費	100,000	0	－100,000	
小 計	5,970,000	5,781,868	－188,132	
次年度繰越金	3,239,227	3,698,681	459,454	
合 計	9,209,227	9,480,549	271,322	

財 産 目 録

普 通 預 金	静 岡 銀 行	316,059
郵便振替口座	郵便局名古屋	1,184,209
郵便定期貯金	三方原郵便局	2,000,000
郵便普通貯金	三方原郵便局	105,966
現 金		92,447
合 計		3,698,681

上記の通りご報告致します。

副支部長 会費委員長 森 下 繁 男 ㊟

平成24年度収支決算につき、関係書類について、監査を行ったところ、
いずれも正確であったことを証明します。

平成25年4月9日

監 事 西 尾 國 夫 ㊟

監 事 浅 井 仁 ㊟

昨年度と同じスローガン「深めよう！同窓の絆 強めよう母校への関心」の下に、「平成26年度浜松支部総会の参加者のさらなる増加」と「H25年度浜松支部の単年度会計収支の均衡」を達成します。

1. 総務委員会

八木総務委員長

活動方針：役員が一丸となって浜松支部の活動に参加・協力できるような環境を整えます。

① 諸 会 議 支部活動に役員が参加・協力できるような環境作りを更に推進すると共に、役員の交代を通じて、役員総数の1/3以上の約50名の参加を目指します。

役 員 会 年4回の会議を年3回に削減し、負担を軽減します。

委 員 会 支部活動の中心を委員長および副委員長が主催する委員会に移行し、活動の輪を広げていきます。

顧問会議 年度の初めに開催し、事業および収支決算の報告、事業計画(案)、予算(案)、役員交代、支部総会の来賓者の人選などについて、指導助言を頂きます。

正副支部長会 役員会および顧問会議に先立って年4回、その他は適宜開催します。

② 新 年 会 役員間の親睦を図るため平成26年1月に開催します。

③ （公財）浜松科学技術研究振興会 財団の運営に協力します。

④ 支 部 間 交 流 正副支部長が交代で他支部総会に参加します。

⑤ 浜松支部総会 総会を平成25年5月18日(土)に開催します。

2. 組織委員会

出野組織委員長

活動方針：企業会員に対しては代表幹事を拡充し、個人会員に対しては学年毎の代表幹事を設け、組織を強化します。

① 組織強化 会員数が5名以上の企業の代表幹事の充当率を80%とし、最近の卒業生から遡って学年毎の代表幹事を選任します。そのために、総会の懇親パーティーに新卒者を無料で招待します。

② 名簿メンテナンス 企業会員の退職情報を入手し、企業会員から個人会員への移行をはかり、名簿情報を確かなものにします。

③ 会報「Technopia」の配布 Technopia第64号を配布します。第65号は電子媒体の為、浜松支部ホームページに掲載します。

④ 懇親パーティー券の販 販売目標を210枚とします。

3. 事業委員会

神谷事業委員長

活動方針：大学、企業、同窓生の絆を深める仕掛けを考案し、各事業への参加者増加と活性化に向けたネットワーク作りを目指します。また、事業収支の健全性を確保します。

① 会員相互交流 講演会では大学の最新研究紹介の場を設けます。また、懇親パーティーでは本年度も大学の就職担当教官を招待し、参加者230人以上を目指します。その他には、同窓生、OB、母校の学生との相互交流を促進するため、多くの会員(2チーム以上)を佐鳴湖駅伝大会へ派遣します。

② UT相談室 Uターン希望者、シニア世代等の再就職希望者、また希望退職等で離職した会員への、再就職相談を充実させます。また、浜松北部地域を始めとした企業へ訪問し、登録企業を増やします。

③ 結婚相談室 ニューカップルの倍増を目指します。また、若い世代の結婚相談にも取り組みます。

4. 広報委員会

野中広報委員長

活動方針：会員にとって魅力のある会報にするとともに、会報の発行に掛かる費用を低減します。また、会報以外の情報発信手段として、Webの活用を推し進めます。

① 会報発行 Technopiaは例年通り2回発行します。ただし、第64号（平成25年秋号）は冊子体で、第65号（平成26年春号）は原則Web上の電子媒体で発行を試みます。

② 浜松支部Web事業 浜松支部のホームページから、支部総会、役員会、各委員会、母校浜松キャンパスの最新情報を、毎月発信します。また、会員の情報も随時提供し、交流の場として活用を試みます。

③ 広告依頼・広告掲載活動 UT相談室と協力して、より多く（5社以上）の広告掲載企業を開拓します。

5. 会費委員会

森下会費委員長

活動方針：発生費用の年度内処理を徹底するとともに、年度収支均衡を必達します。

① 会 費 徴 収 組織委員会と協力して、会費収入の10%増加を目指します。

② 事業別予算 費用と便益の点から、総会事業と会報「Technopia」事業について、それぞれ事業委員会と広報委員会と協力して、支出内容の適正化を図ります。

●収入の部 (単位：円)				
項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	説 明
支 部 年 会 費	2,206,500	2,300,000	93,500	1,500円×1,533人
支 部 交 付 金	1,103,000	636,000	－467,000	協賛金（浜松工業会・浜松科学技術研究振興会）・他
パ ー テ ィ ー 券	1,312,000	1,400,000	88,000	7,000円×195枚＋1,000円×35枚
会 報 広 告 代	585,000	400,000	－185,000	会報（Technopia）広告料
預 金 利 子 他	122	200	78	普通預金、郵便普通貯金
役 員 会 会 費	440,000	300,000	－140,000	昨年度は、新年会と役員会の会費の合計
雑 収 入	40,000	40,000	0	ご祝儀
小 計	5,686,622	5,076,200	－610,422	
前年度繰越金	3,793,927	3,698,681	－95,246	
合 計	9,480,549	8,774,881	－705,668	

●支出の部 (単位：円)				
項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	説 明
総 会 費	2,365,918	2,100,000	－265,918	総会・パーティ・記念講演・他
印 刷 費	1,757,431	1,680,000	－77,431	会報（Technopia）第63、64、65号・他
役 員 会 費	807,245	400,000	－407,245	役員会・正副支部長会・顧問会議・各委員会
会 議 費	0	300,000	300,000	昨年度は、役員会と合わせて役員会費として計上
通 信 費	563,461	310,000	－253,461	会報（第64号発送料）・連絡費・他
旅費・交通費	87,830	120,000	32,170	他支部総会出席・他
慶 弔 費	48,024	40,000	－8,024	他支部総会祝儀
振 込 手 数 料	30,090	40,000	9,910	郵便振替料・送金手数料
雑 費	121,869	50,000	－71,869	広報委員会活動費・佐鳴掲載料他
予 備 費	0	30,000	30,000	調整費
小 計	5,781,868	5,070,000	－711,868	
次年度繰越金	3,698,681	3,704,881	6,200	
合 計	9,480,549	8,774,881	－705,668	

*各科目間の流用は認めさせていただきます。

第4号議案 役員交代について		
	旧 役 員	新 役 員
副支部長 組織委員長	出 野 光 雄 (49JD) 浜松ホトニクス (株)	仁 科 義 雄 (56M) (株) エフ・シー・シー
副支部長 組織委員長	森 下 繁 男 (61JD) パルステック工業 (株)	山 田 充 孝 (98M/00MM) NTN (株)

平成25年度浜松支部役員		
支 部 長	鈴 木 由 則 (49K)	ヤマハ発動機 (株) OB
副支部長 広報委員長	野 中 詠 一 郎 (53JC/56JE)	(株) クラベ
副支部長 事業委員長	神 谷 真 市 (62JM)	アポロ電気 (株)
副支部長 組織委員長	仁 科 義 雄 (56M)	(株) エフ・シー・シー
副支部長 会費委員長	山 田 充 孝 (98M/00MM)	NTN (株)
副支部長 総務委員長	八 木 績 (56C/58MC/94DD)	(株) 河合楽器製作所

浜松工業会浜松支部会則

- 【名称及び所在地】
- 第1条 本会は、浜松工業会浜松支部（以下本会という）と称する。
- 第2条 本会は、連絡所を佐鳴会館内（浜松市中区城北3丁目5－1）に置く。
- 【目的及び事業】
- 第3条 本会は、会員相互の親睦と人格の向上を図ると共に、母校の隆昌と国内外の学術文化の発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 本会は、次の事業を行う。
- 会報の発行。
 - 会員名簿の発行。
 - その他、本会の目的達成に必要な事業。
- 【会員】
- 第5条 本会は、静岡県の大井川以西に在住または勤務する下記の会員により組織する。
- 正会員
- 浜松高等工業学校、浜松工業専門学校、静岡大学工学部、静岡大学情報学部卒業生。
 - 静岡大学大学院工学研究科、静岡大学大学院電子科学研究科、静岡大学大学院理工学研究科、静岡大学大学院情報学研究科、静岡大学創造科学技術大学院修了生。但し、浜松キャンパスの修了生とする。
 - 第11臨時教員養成所、浜松臨時教員養成所卒業生。
 - 静岡大学工業短期大学部卒業生。
 - 上記1～4項に準ずる者で、工業会本部において承認された者。
- 特別会員 前号の各学校及び電子工学研究所に在職する、又は在職した教職員で、役員会において承認された者。
- 名誉会員 本会对し特に功績のあった者で、役員会より推薦され、総会の承認を得た者。
- 賛助会員 本会の目的及び事業に賛同する個人又は法人で、役員会において承認された者。
- 【役員】
- 第6条 本会に下記の役員を置く。
- | | | |
|------|-----|------------------------------------|
| 支部長 | 1 名 | 本会を代表し、会務を総理する。 |
| 副支部長 | 5 名 | 支部長を補佐し、支部長事故ある時は代行する。また、委員会を統括する。 |
| 監事 | 2 名 | 会計の監査を行う。 |
| 幹事 | 若干名 | 一般会務に参画する。 |
| 常任幹事 | 若干名 | 常任幹事会に出席するなど、重要な会務に参画する。 |
| 顧問 | 若干名 | 顧問会議に出席するなど、重要な会務に参画する。 |
| 名誉顧問 | 若干名 | 支部長の相談役として本会に助言する。 |
- 第7条 支部長及び副支部長は、会員中より、役員会の議を経て、総会において決定する。
- 第8条 監事、幹事、常任幹事、顧問及び名誉顧問は、支部長が役員会に諮り委嘱する。但し、常任幹事は、副支部長の経験者及び支部長が必要と認めた者、顧問は、支部長経験者及び本会对し特に功労のあった者、名誉顧問は、現職の工学部長、情報学部長、及び電子工学研究所長、工業会の理事長、財団の理事長及び専務理事とする。
- 第9条 役員の任期は次の通りとする。
- 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。
 - 役員に欠員が生じたときは、役員会に諮り補充することができる。
 - 補欠により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。
 - 役員は任期満了後でも、後任者が就任するまで職務を行う。
- 【会議】
- 第10条 総会は、本会の最高議決機関であり、毎年1回開催する。但し、必要に応じ、臨時総会を開くことがある。
- 第11条 総会は、正会員及び名誉会員により構成する。支部長は、これを招集し、その議長となる。
- 第12条 総会の議案は、役員会の議を経て決定する。
- 第13条 正副支部長の選任のほか、下記事項は、総会の決議を経なければならない。
- 本会則変更に関すること。
 - 事業計画。
 - 予算及び決算。
 - 会費。
 - その他、役員会において必要と認めた事項。
- 第14条 役員会は、正、副支部長、監事、幹事、常任幹事、顧問及び名誉顧問により構成。必要に応じ、支部長がこれを招集し、その議長となる。
- 第15条 正副支部長会は、正、副支部長により構成。必要に応じ、支部長がこれを招集し、その議長となる。

- 第16条 常任幹事会は、正、副支部長及び常任幹事により構成。必要に応じ、支部長がこれを招集し、その議長となる。
- 第17条 顧問会議は、正、副支部長及び顧問により構成。必要に応じ、支部長がこれを招集し、その議長となる。
- 第18条 会議の決議は、出席者の過半数の賛否により定める。
- 【委員会】
- 第19条 本会に下記の委員会を置き、会務を執行する。
委員会は、各副支部長を委員長とするほか、前任の委員長を含む各若干名の副委員長をおくことができる。副委員長は支部長より委嘱する。

1. 総務委員会
(1) 総会及びその他の会議開催に関する事項。
(2) 渉外に関する事項。
(3) 趣味の会に関する事項。
(4) 支部会則及び施行細則の改訂に関する事項
2. 組織委員会
(1) 会員名簿の発行に関する事項。
(2) 会報の配布に関する事項。
(3) 総会パーティ券配布に関する事項。
3. 事業委員会
(1) UT（ユーターン）及びSE（シニアエンジニア）相談室運営に関する事項。
(2) 結婚相談室運営に関する事項。
(3) 産学連携に関する事項。
4. 広報委員会
(1) 会報発行に関する事項。
(2) HP（ホームページ）の運営に関する事項。
5. 会費委員会
(1) 会費徴収に関する事項。
(2) 会計業務に関する事項。

【会計】

- 第20条 本会の経費は、会費及び会報の広告料、寄付金及びその他の収入をもって支弁する。
- 第21条 正会員及び特別会員は、年度会費1,500円を納入する。
賛助会員の年度会費は、法人は、一口30,000円、個人は3,000円とする。
- 第22条 会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。
- 【慶弔見舞】
- 第23条 当支部に特に貢献のあった者を対象とし、支部長が決定する。

- 【付則】 本会則は、平成18年5月20日より施行する。

(注) 昭和31年1月22日	一部改正
昭和42年6月10日	〃
昭和55年8月23日	〃
昭和57年6月26日	一部改正及び条文整理
昭和58年5月28日	一部改正
昭和60年4月1日	〃
平成12年6月4日	〃
平成18年5月20日	〃
平成19年5月19日	〃
平成20年5月17日	〃
平成23年5月21日	一部追記
平成25年5月18日	一部改正

施行細則

- 第1条 総会への招待者は、次の通りとする。
1. 工学部関係 工学部長。
 2. 情報学部関係 情報学部長。
 3. 電子工学研究所関係 電子工学研究所長。
 4. 財団関係 財団理事長及び常務理事。
 5. 工業会関係 会長、理事長、浜松支部以外の支部長。
 6. その他支部長が必要と認めた者。
- 第2条 この細則は、役員会の議を経て変更できる。
- 【付則】 本細則は平成12年6月4日より施行する。
- (注) 平成12年6月4日 一部改正
平成20年5月17日 〃

記念講演会

15:15~17:45 鳳東の間(2階)

●15:15~16:00

演題1:『ポストリチウムイオン電池を目指した革新型二次電池への取り組み』

講演者: 嵯峨根 史洋 氏 静岡大学工学部電子物質科学科 助教

【略歴】

平成14年 京都大学工学部工業化学科 卒業
平成16年 京都大学大学院工学研究科物質エネルギー化学専攻修士課程 修了
平成18年 京都大学大学院工学研究科物質エネルギー化学専攻博士課程 途中退学
平成18年 大阪府立産業技術総合研究所 研究員
平成20年 京都大学大学院工学研究科物質エネルギー化学専攻博士課程 修了
平成20年 京都大学大学院工学研究科物質エネルギー化学専攻 研究員
平成23年 静岡大学工学部物質工学科 助教(現職)

【著書】



リチウムに依存しない革新型二次電池 [単行本]
共著: 嵯峨根史洋氏含む33名

《休 憩》

16:00~16:10

●16:10~17:45

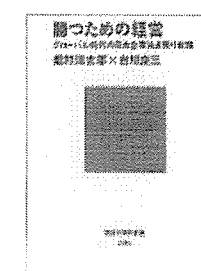
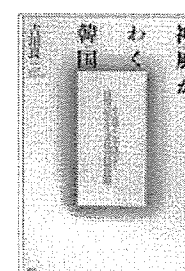
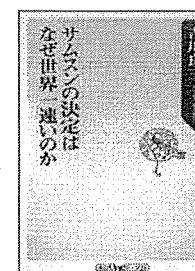
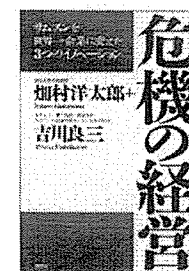
演題2:『日本のものづくり技術神話再考-グローバル市場で選ばれるために-』

講演者: 吉川 良三 氏

【略歴】

昭和38年 日立製作所入社 CAD/CAMの開発に従事
平成元年 NKK(現JFEホールディング)エレクトロニクス本部開発部長
平成6年 韓国三星電子 常務取締役 開発革新の推進に従事
平成16年 東京大学大学院経済学研究科 ものづくり経営研究センター特任研究員
平成18年 日韓IT経営協会会長
平成19年 東京設計管理研究会 学術会員
平成20年 立命館大学大学院 イノベーションセンター客員研究員

【著書】



懇親パーティー

15:15~17:45 鳳東の間(2階)

司会進行	神谷副支部長	
挨拶	鈴木支部長	
来賓挨拶	浜松工業会理事長	江間 義則 様
	静岡大学学長	伊東 幸宏 様
	静岡大学工学部電子物質科学科 助教	嵯峨根史洋 様
	東京大学大学院経済学研究科	
	ものづくり経営研究センター 特任研究員	吉川 良三 様
乾杯	浜松工業会浜松支部 前支部長	和久田俊一 様
アトラクション	静岡大学 よさこい演舞サークル(浜松キャンパス)	

懇親パーティーへようこそ!

懇親パーティーはふれあいの場です。世代や企業を超えて新しい出会いを作り、人脈作りや情報共有の場として有意義な時間をお過ごしください。

「名刺交換のチャンスを作ります」

積極的な名刺交換にチャレンジしてください。素敵なプレゼントがもらえるかも……

「卒業年次による交流のチャンスを作ります」

パーティー進行中にテーブルチェンジなどを行います。多くの参加者と会話を楽しんでください。

「情報交換ができます」

- ・若い世代とシニア世代の交流
- ・同世代間の交流
- ・大学の先生や就職担当教官との交流
- ・講演会講師との交流
- ・大企業及び中小企業との交流
- ・UT相談委員との交流

「趣味の会」の皆様が集まれるテーブルを用意します。

ゴルフ会、テニス会、囲碁、将棋、音楽、武道、マラソン、レディスサークルなど、共通する趣味をお持ちの皆さんで集ってください。

「趣味の会」設立に協力します。

趣味の会を設立したい方を募集します。支部がバックアップします。

「わかりやすい色カードを用意します」

企業代表幹事、就職担当教官、新卒会員、UT相談委員には、胸ポケットに色カードを付けていただき、わかりやすくします。積極的にお声掛けください。

浜松工業会愛唱歌 「友よ友」

詞/相川 覚
曲/遠藤 節子



「友よ友」

作詞 相川 覚
作曲 遠藤 節子

一、あつき望みに この胸を
そめしはきはら ひくまのに
平成のみよ 秋たけて
かがやく歴史 たたえんと
つどいて祝え 友よ友

二、うたげの酒に ふと浮かぶ
戦火にちりし 白ばらの
かおりほのかに 逝きし友
残るおもかげ しみじみと
つどいてしのべ 友よ友

三、さなる まいさか がんすいじ
汗と涙を 流しつつ
肩くみ合いて 舞い踊る
若き息吹の なつかしく
つどいて歌え 友よ友

四、時の流れに 名もかわる
されど心の ふるさは
自由 啓発 創造の
とわに変わらぬ 我が母校
つどいて誇れ 友よ友